

サポセン mail No.156 2016. 4.27発行

<発行元> 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区誉田町2-24-16 TEL&FAX 043-308-4436
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:http://saposen.konjiki.jp/

～～ 中学生が気軽に集まれる場所があるといいな ～～

遊び塾で顔見知りになった子や緑区子どもサポートセンターに携わってきた青年と一緒にキャンプできたことはとても貴重です

夏のキャンプが終わり、楽しい時間を共有した仲間や、仲良くなった青年と次のキャンプまで何もないものは寂しい。中学生も集まって楽しめる場所にあるといいなと言う想いから、中学生グループ会がスタートしました。月1回みんなで何をしたいか考えて、集まって楽しむというコンセプトで始めた中学生グループ会も1年が過ぎました。

第1回目のたこ焼き・お好み焼きパーティは、青年が4人も来てくれ嬉しく思いました。誉田事務所に集まり、野菜を切ったり粉をかき混ぜたり一緒に作り食べました。久しぶりにあったからでしょうか、中学生だけでかたまり、青年はまわりから様子をみていました。キャンプのように何回も会って遊ぶことが慣れるコツだと思い、毎月1回遊ぶ機会をつくることができたらいいと思いました。

昭和の森で体を使って遊ぶ予定が、当日中学生の案でトランプをしようということになりました。青年二人も来てくれ、快く芝生にシートをひいて一緒に保護者も入り、みんなで輪になって座り、青空の下でトランプしました。外でするトランプは、いつもと違った楽しさや笑顔が見えました



遊び塾の逃走中やこどものまちに、中学生が続けて繋がっていたので、参加できたと思います。小学生とは違った目線や仕方ができていたと感じました。

中学生がしたいと言って、バトミントンや卓球、ボーリングもしました。自分だけではしないようなボーリングなど初めてすることもあり、少しでもできると生き生きしていました。自分がしたいものが言えて、みんなで共有できたのでよかったと思います。この中学生グループ会が、勉強や塾、部活と忙しい中学生に、楽しんでほっとできる時間になれていたらいいと思います



青年はもちろん、違う中学校の子やいろんな人に会って少しでも話できるといい。自分が楽しいと思えるだけでもいい。1人でも2人でも参加する人がいるならできるのが、このグループの良さだと思います。(記 大塚)



2月 土曜あそび塾



『楽しいお菓子づくり』

2月13日（土）あすみが丘プラザにて、「楽しいお菓子づくり」を行いました。当日は2月とは思えないほどの陽気で、暖かな日でした。そのおかげか、いつもこの時期は風邪ひきさんなどでお休みが多いのですが、なんとこの日はお休み一人のみ、子どもが21人参加という嬉しい日でした。

今回は、「生活クラブ」生協の食材を使ったお料理の先生、出雲路さんという方が講師です。作るお菓子は「マドレーヌ」と「八つ橋」でした。

最初は「マドレーヌ」子どもたちの中には、「作ったことあるよ」という声もありました。

まずは、薄力粉と強力粉、ベーキングパウダー、砂糖をよく混ぜます。なんと100回、混ぜてください、

とのこと。子どもが作ると無心に一生懸命混ぜるので、大人が作るより上手に作れるんだよ、というお話でした。さらに卵を入れてまた100回、次に溶かしたバターを入れてまた100回です。合計300回は確かに大人にはきついですね。



卵は子どもが失敗するといけないと、余分に用意していただきましたが、どこからも失敗した！という声は聞こえてきませんでした。みんなお家で経験済みだったようです。

混ぜるときは、「おいしくな〜れ」と思いを込めて、空気を混ぜ込むように。

どの班の子も一生懸命手分けして300回混ぜた、かな？生地は、プレーンとココア入り、抹茶入りなどがありました。

もったりとした生地になったら型に流し入れますが、みんなこぼさない様にできたかな？その後はオーブンで17分焼き上げます。ワクワク！

マドレーヌを焼いている間に、次の「八つ橋」にかかります。

こちらの生地は、白玉粉、上新粉、砂糖、シナモンをやはり最初に100回混ぜます。


白玉粉はお餅になるもち米の粒、上新粉はご飯になるうるち米の粒と教えてもらいました。

混ぜるのも2回目となると緊張も解けてきたようで、作業が早くなってきました。

次にお水を加え、粉の粒々が残らない様にまた混ぜます。先ほどとは違って今度の生地はさらさらとした感じでした。その生地をどんぶりに入れてラップをかけてレンジで2分、



加熱します。するとさらさらだった生地がのり状にもったりしてきます。

例えば「スライム」のような感じでしょうか。2分チンして1回出して木べらでよく練り、さらにまた1分半レンジで加熱して木べらで練ると八つ橋の皮の部分が出来上がります。けっこう重たくて力が要りますが、熱いうちに頑張っ
て練ります。この作業はレンジではなくお鍋に入れて火にかけながら木べらで練ることも可能ですが、子どもにはちょっと難しいので今回はレンジを使いました。出来上がった生地をきな粉を広げた上に置いてめんぼうで薄く延ばしていきます。きな粉をケチるとめんぼうにくっついてしまうので、たっぷり使って一気に延ばし、それを包丁かスパチュラなどで四角に切って中に餡子を入れて三角にたたむと、ほら、京都のお土産でよく
いただく、あの「八つ橋」の完成です。

もちろん、売り物のようにきれいには出来ないけど、餡子たっぷりで自然の甘味、なつかしい味のおやつが出来上がりでした。




おやつは、市販のものでももちろん美味しいけれど、こうして材料から吟味して作ると、安心だし、楽しいし、出来上がるまでのワクワクする気持ち、食べさせてあげたい人のことを思う幸せな気持ち、など色々な気持ちや事を経験できますね。

当然、後片付けもお料理のうち、お菓子づくりは粉が飛んだりボールなど容器もたくさん使うので洗い物も結構あるし、面倒なところがあるのも経験のうちです。

バレンタインにはお友達や家族のために作るという子どもたくさん居ると思いますが、年に一度だけではなく、何回も挑戦して将来はパティシエ！という夢も楽しいかもしれません。



こうして出来上がったお菓子を時間が押してしまったので、大急ぎでいただき、残りはお家の方にお土産に持ち帰りました。本当は紅茶を入れて優雅にお茶の時間をしたかったのですが、その分、お家でお母さん、お父さんと今日の様子を語り合いながら食べてくれたらいいなあ、と思いました。

今期のおそび塾も残るは3月の「こどものまち」のみとなりました。最初はあまりお話ししなかった子も、たくさんおしゃべりしてくれるようになり、年長の子は年少の子に気を配ってくれるようになり、今日のようなちょっと難しい作業も仲間で協力してやり遂げることができるようになりました。「こどものまち」はもっと大変なこともあるかもしれませんが、仲間や家族と協力して楽しい「まち」になるように頑張りましょう！（記 大多和）


4月からのおそび塾は楽しい企画が満載！

キッズレザープログラム 4月24日(日)・ふれあい広場公園

私たちの身の回りには、カバン・靴・ソファなどたくさんの革製品があります。でも、革製品を作った残りの残革は大量の産業廃棄物として捨てられているのが現状です。その捨てられている革を使い、



1. 本物の皮を手にとってもらい、革製品づくりを体験したりできる機会を提供する
2. 革の歴史、文化、革製品づくりの楽しさを知ってもらう

これがキッズレザープログラムです。発想豊かな子どもたちがどんなものを作るか楽しみです。

戸外で楽しいデイキャンプ！ 5月5日(日)・昭和の森

気持ちの良い季節の自然を感じながらみんなでデイキャンプを楽しみましょう。今年のメニューは何か？どうぞご家族みなさんでご参加ください。



世界でたった一つの手作りおもちゃ作り 6月12日(日)・菅田公民館



佐倉市で手作りの木のおもちゃやのお店「アトリエ・そうわーくす」をやっている奥津友子さんご夫妻が講師としておもちゃ作りを指導していただきます。木に触れて、自分だけのおもちゃを作ってみましょう。
(当日作るおもちゃは写真とは関係ありません)

みんなで楽しくパン作り！ 7月予定 (会場が予約でき次第お知らせします)

今度こそ！泥団子作り！ 8月28日(日)・昭和の森

雪や雨の予報で何度も延期になり実現できなかった泥団子作り。今度こそ実現できるといいですね。

講師の樋口京子さんはとても魅力的な幼稚園の先生。はじめは「え～！泥団子～！」と言っていた子ども達も一心不乱に泥団子を磨き続けます。



野菜は種から育つのかを知っている？ 9月11日(日)・ゆうちゃんファーム

緑区越智中学校のすぐそばに無農薬の野菜作りをしている「ゆうちゃんファーム」があります。無農薬の畑の中でも野菜の種を取るところから取り組んでいる農家はほんの僅かでほとんどの農家が種は業者から仕入れています。でも種からとった野菜はとても元気で、すくすく育ちます。野菜から種を取る体験をしてみましょう。大豆がたくさん取れたら、後期には味噌づくりもやってみましょう。

サポセン mail No.156 2016. 4.27発行

<発行元> 特定非営利活動法人 緑区子どもサポートセンター
千葉市緑区誉田町2-24-16 TEL&FAX 043-308-4436
E-MAIL:kids-support-midori@coffee.ocn.ne.jp
URL:<http://saposen.konjiki.jp/>

～～ 中学生が気軽に集まれる場所があるといいな ～～

遊び塾で顔見知りになった子や緑区子どもサポートセンターに携わってきた青年と一緒にキャンプできたことはとても貴重です

夏のキャンプが終わり、楽しい時間を共有した仲間や、仲良くなった青年と次のキャンプまで何も無いものは寂しい。中学生も集まって楽しめる場所にあるといいなという思いから、中学生グループ会がスタートしました。月1回みんなで行きたいか考えて、集まって楽しむというコンセプトで始めた中学生グループ会も1年が過ぎました。

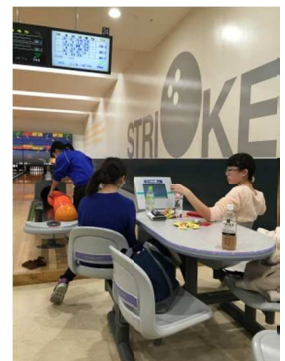
第1回目のたこ焼き・お好み焼きパーティは、青年が4人も来てくれ嬉しく思いました。誉田事務所に集まり、野菜を切ったり粉をかき混ぜたり一緒に作り食べました。久しぶりにあったからでしょうか、中学生だけでかたまり、青年はまわりから様子をみていました。キャンプのように何回も会って遊ぶことが慣れるコツだと思い、毎月1回遊ぶ機会をつくることができたらいいと思いました。

昭和の森で体を使って遊ぶ予定が、当日中学生の案でトランプをしようということになりました。青年二人も来てくれ、快く芝生にシートをひいて一緒に保護者も入り、みんなで輪になって座り、青空の下でトランプしました。外でするトランプは、いつもと違った楽しさや笑顔が見えました



遊び塾の逃走中やこどものまちに、中学生が続けて繋がっていたので、参加できたと思います。小学生とは違った目線や仕方ができていたと感じました。

中学生がしたいと言って、バトミントンや卓球、ボーリングもしました。自分だけではしないようなボーリングなど初めてすることもあり、少しでもできると生き生きしていました。自分がしたいものが言えて、みんなで共有できたのでよかったと思います。この中学生グループ会が、勉強や塾、部活と忙しい中学生に、楽しんでほっとできる時間になれていたらいいと思います



青年はもちろん、違う中学校の子やいろんな人に会って少しでも話できるといい。自分が楽しいと思えるだけでもいい。1人でも2人でも参加する人がいるならできるのが、このグループの良さだと思います。(記 大塚)